

## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第1項 災害に対する不安を減らすようにします

めざしたい将来像：

市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にする社会を実現します。

《指標》

災害に対して自ら対策を講じている人の割合

#### (1) 指標の説明

ひとたび大地震が起これば建物の倒壊、火災、ライフライン等への多大な被害が発生し、人的被害が拡大する危険が潜んでいます。これらの被害を最小限に抑えるためには、行政による防災体制の確立を図るとともに、地域住民の防火防災意識の高揚や自主的な訓練など、日ごろからの備えが極めて重要です。そこで、災害に対して自ら対策を講じている人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q15 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。次の中から、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 消火器の設置      | 6 身内との連絡方法の確立  |
| 2 住宅用火災警報器の設置 | 7 避難経路や避難場所の確認 |
| 3 家具などの転倒防止   | 8 防災訓練などへの参加   |
| 4 水や食糧の備蓄     | 9 その他（ ）       |
| 5 非常持ち出し用品の確保 | 10 特に準備はしていない  |

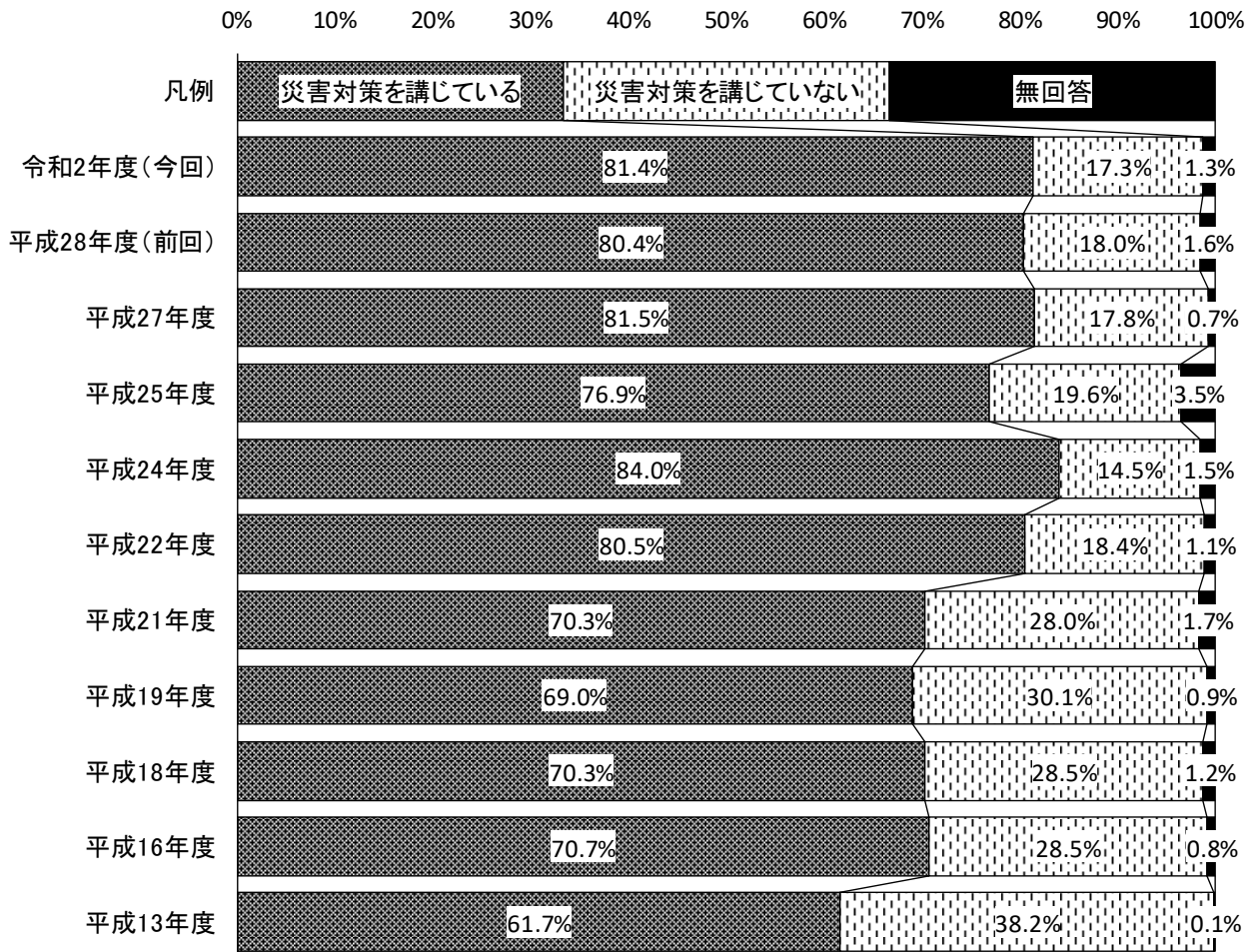
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
災害対策を講じて いる	61.7%	70.7%	70.3%	69.0%	70.3%	80.5%	84.0%	76.9%	81.5%	80.4%	81.4%

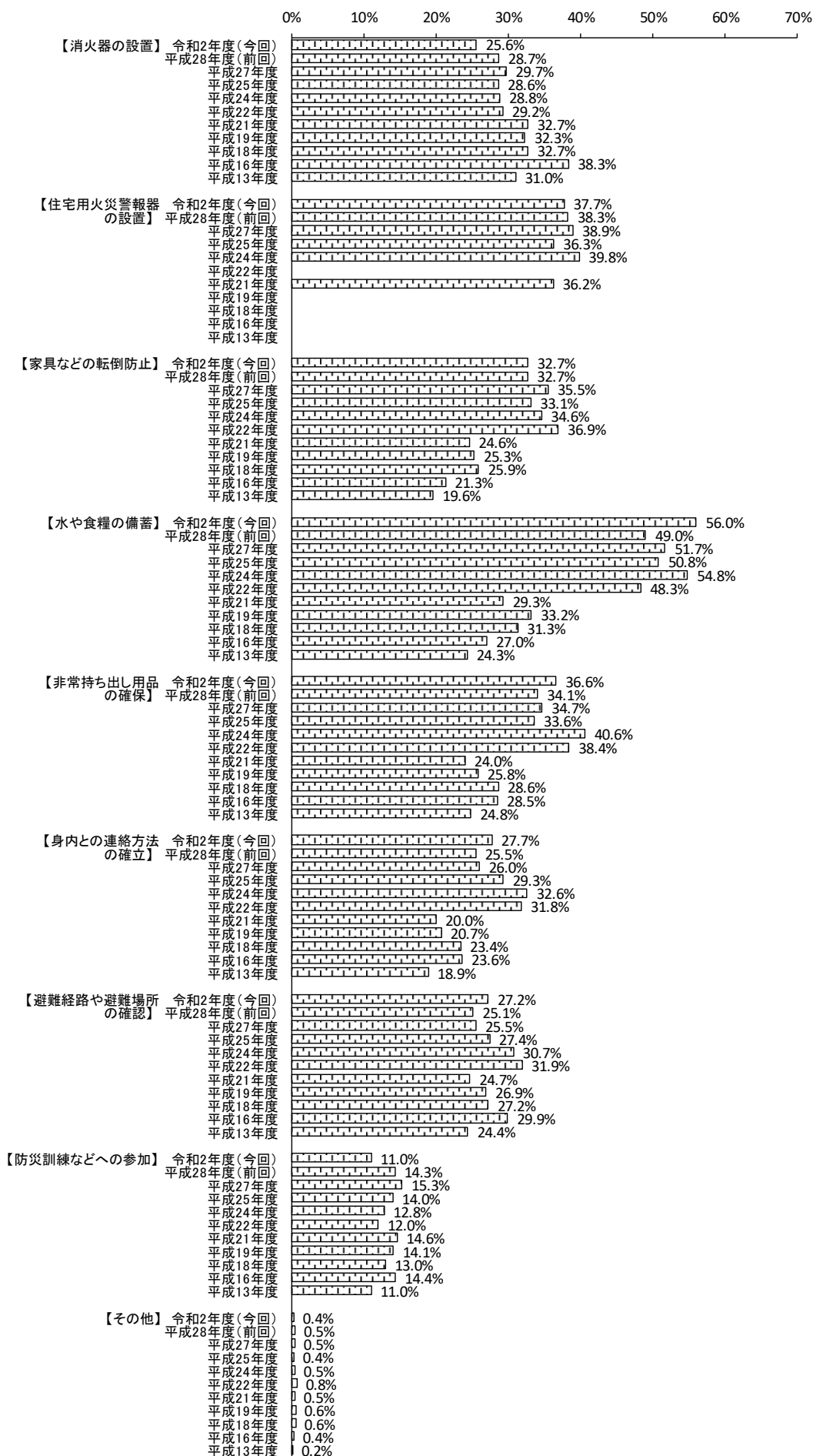
#### (4) 指標の分析

##### ☆災害対策を講じている人は約8割となっています

災害に対して何らかの対策を「講じている」(81.4%)と答えた方は約8割となっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。

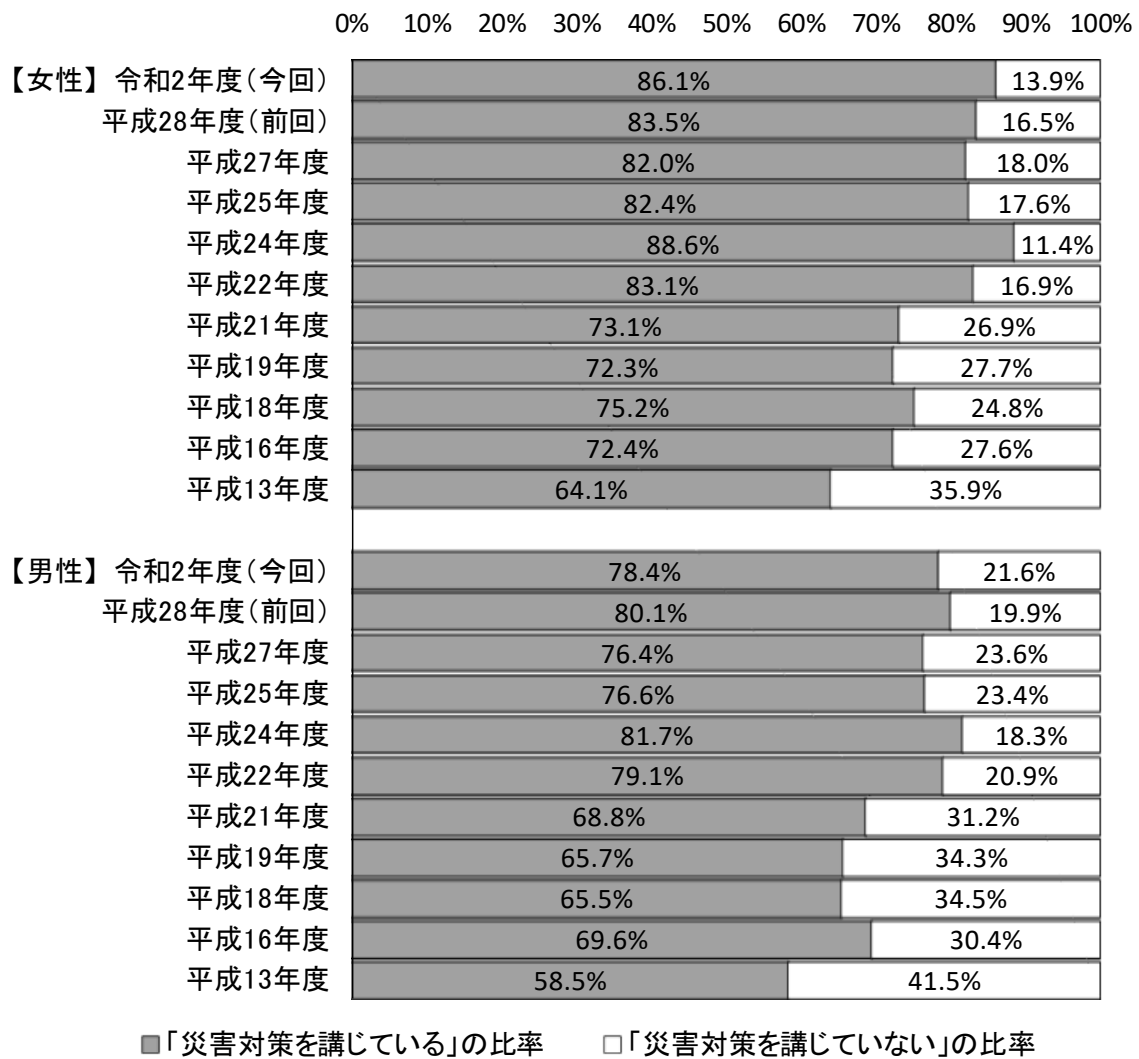


災害対策の具体的な内容は、「水や食糧の備蓄」(56.0%)が最も高く、次いで「住宅用火災警報器の設置」(37.7%)、「非常持ち出し用品の確保」(36.6%)となっています。また、「水や食糧の備蓄」は平成28年度調査と比べて7.0ポイント増加しています。



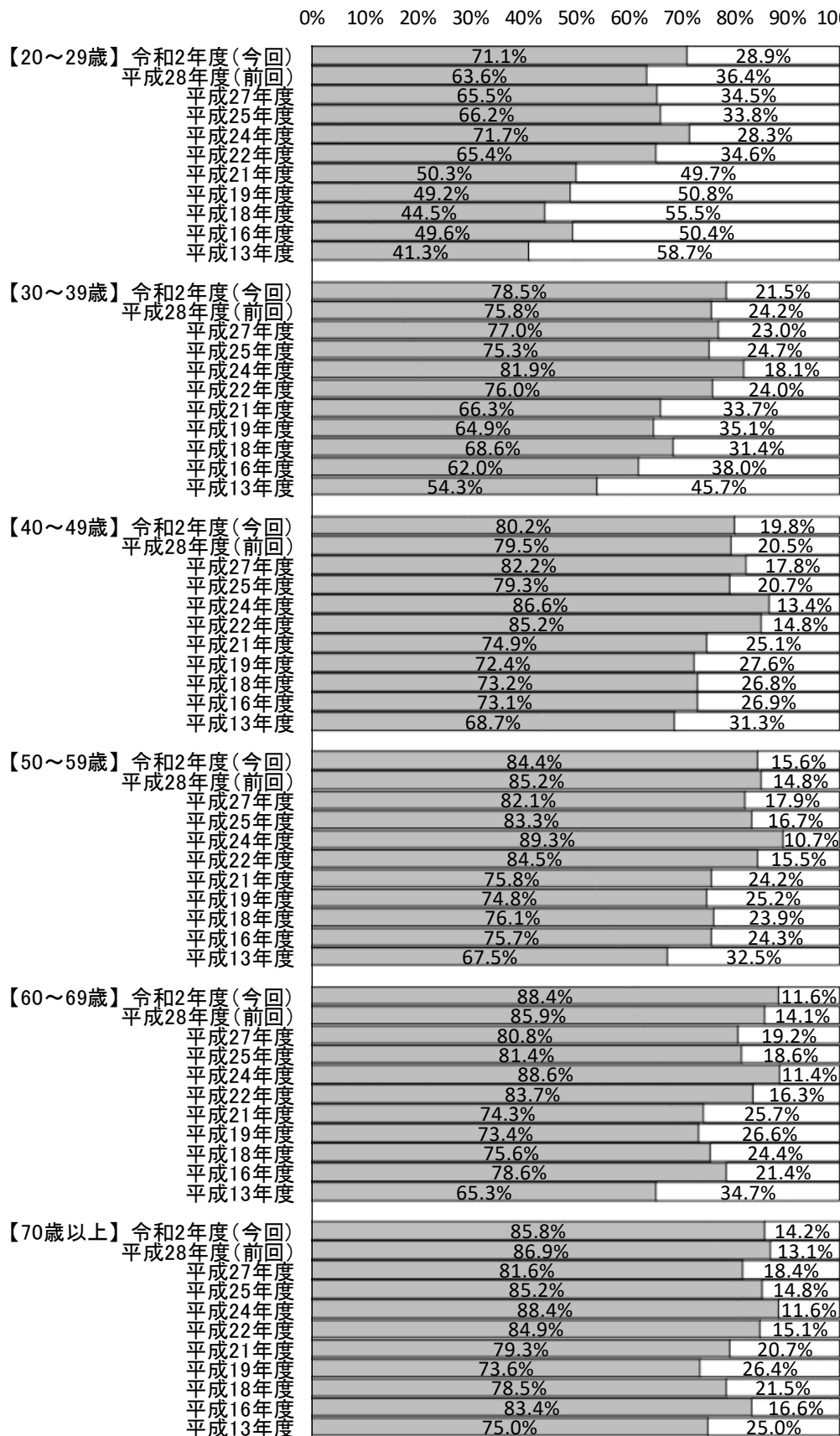
<災害対策×性別>

性別で見ると、「災害対策を講じている」は“女性”（86.1%）が“男性”（78.4%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



<災害対策×年齢別>

年齢別でみると、「災害対策を講じている」はおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっており、“60～69歳”（88.4%）、“70歳以上”（85.8%）で高くなっています。また、「災害対策を講じている」は平成28年度調査と比べて“20～29歳”で7.5ポイント増加しています。



■「災害対策を講じている」の比率    □「災害対策を講じていない」の比率

## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第5項 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります

めざしたい将来像：

犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。

《指標》

消費者トラブルに巻き込まれた人の割合

#### (1) 指標の説明

自立した消費行動をとれるように支援するため、消費者トラブルに巻き込まれた人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いています。「個人・行動」

Q16 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。次の中から、トラブルや被害にあった番号全てに○をつけてください。

- 1 店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 2 訪問販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 3 通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 4 電話勧誘販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 5 その他（ ）
- 6 トラブルや被害にあっていない

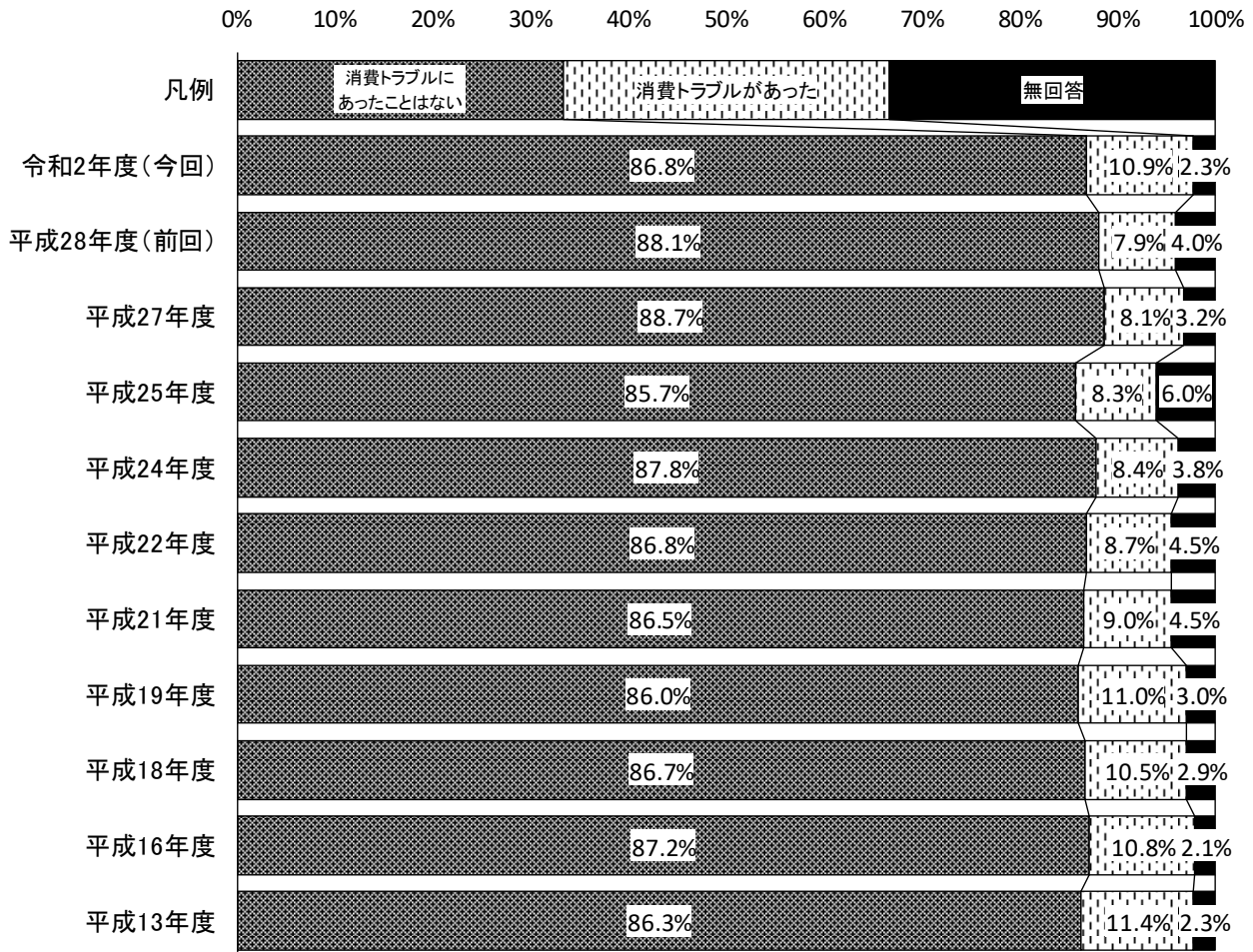
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
消費トラブルが あった	11.4%	10.8%	10.5%	11.0%	9.0%	8.7%	8.4%	8.3%	8.1%	7.9%	10.9%

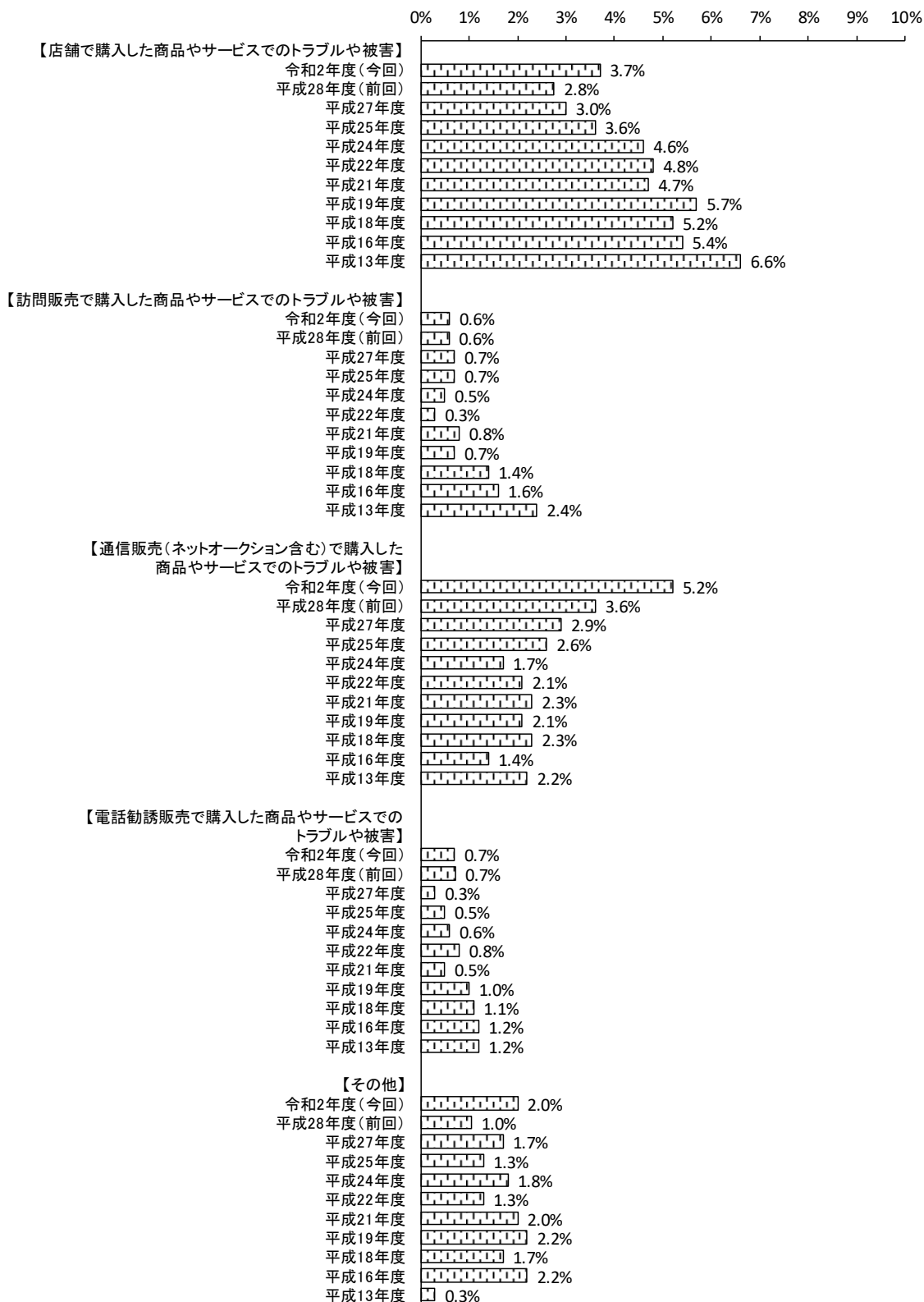
#### (4) 指標の分析

##### ☆消費者トラブルに巻き込まれた人は約1割となっています

この1年間に何らかの「消費トラブルがあった」(10.9%)と答えた方は約1割となっており、平成28年度調査と比べて3.0ポイント増加しています。



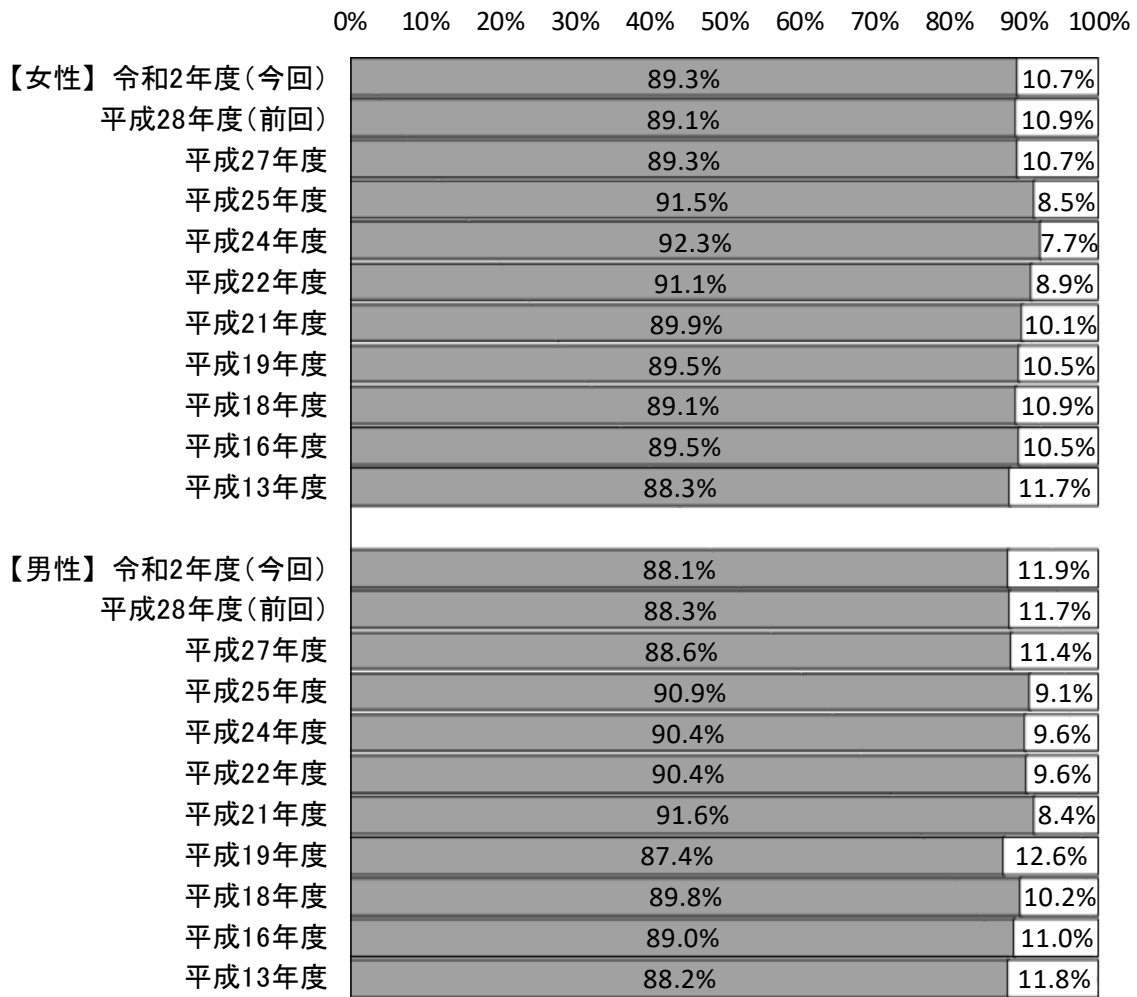
消費者トラブルの具体的な内容は、「通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害」（5.2%）が最も高く、次いで「店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害」（3.7%）となっており、「通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害」は平成24年度調査以降増加傾向を示しています。





## <消費トラブル×性別>

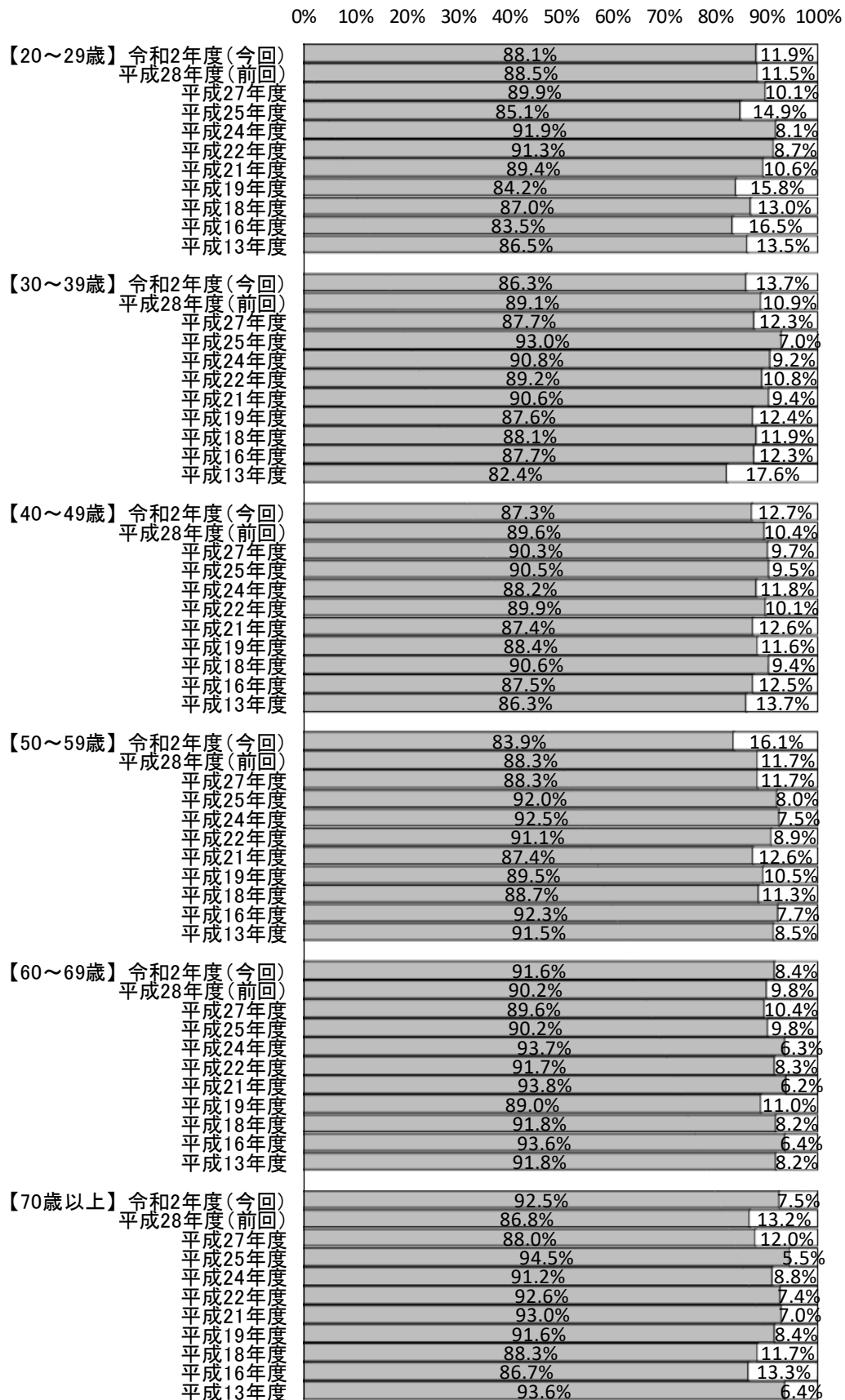
性別で見ると、「消費トラブルがあった」は“男性”（11.9%）が“女性”（10.7%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



■「消費トラブルにあったことはない」の比率    □「消費トラブルがあった」の比率

<消費トラブル×年齢別>

年齢別で見ると、「消費トラブルがあった」は“50～59歳”（16.1%）で最も高く、次いで“30～39歳”（13.7%）となっています。また、「消費トラブルがあった」は平成28年度調査と比べて、“50～59歳”で4.4ポイント増加し、“70歳以上”で5.7ポイント減少しています。



■「消費トラブルにあったことはない」の比率 □「消費トラブルがあった」の比率

## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第6項 緑と花に親しむことができるようにします

めざしたい将来像：

生きものやみどりとともに暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切にする思いやりの心もち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

《指標》

緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合

#### (1) 指標の説明

緑や水にふれあう度合いが増すことによって、これらの自然環境に対する市民の満足度も高くなると考え、緑地、河川などの自然環境に満足している人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（ケ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6

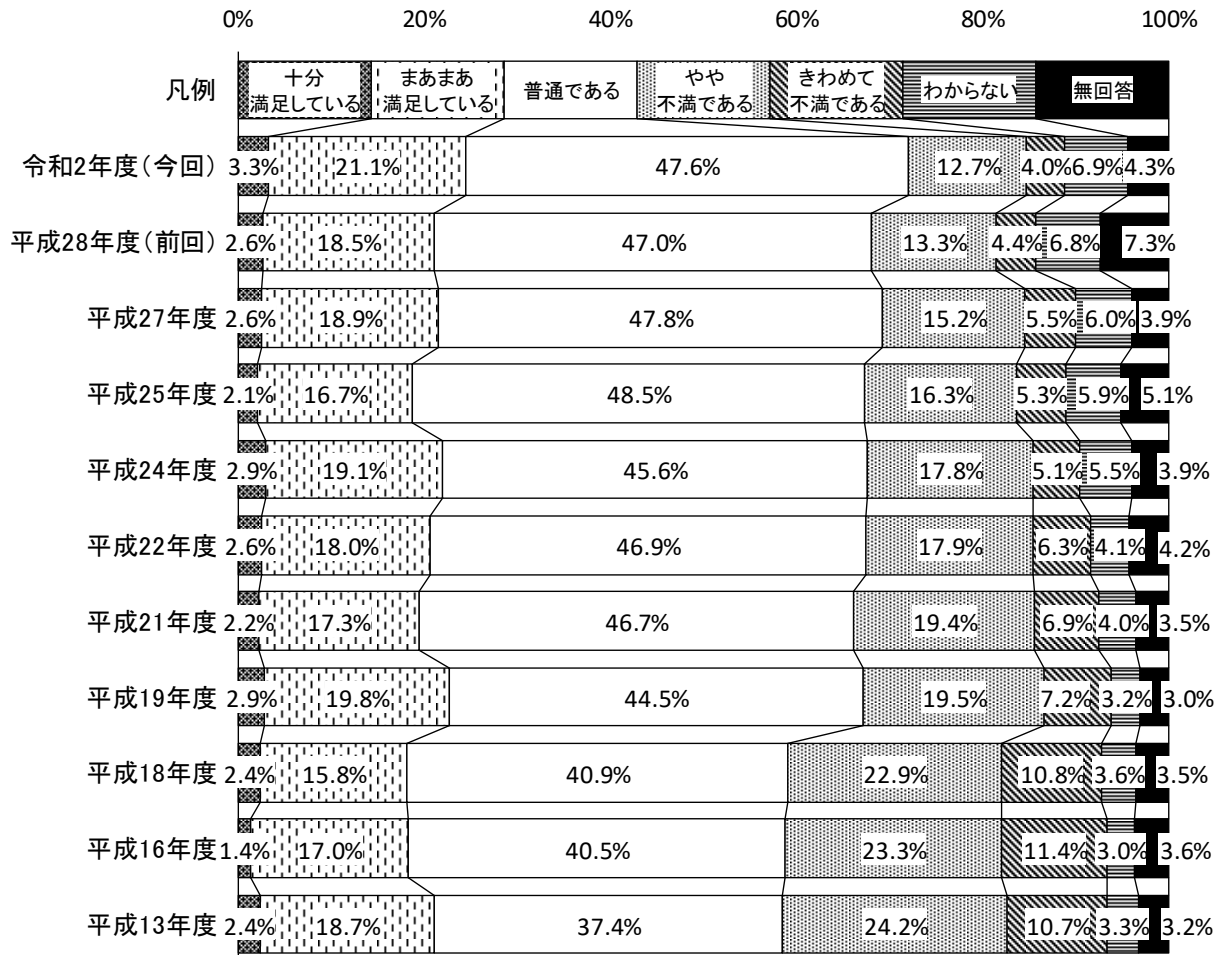
#### (3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
十分満足している	2.4%	1.4%	2.4%	2.9%	2.2%	2.6%	2.9%	2.1%	2.6%	2.6%	3.3%
まあまあ満足している	18.7%	17.0%	15.8%	19.8%	17.3%	18.0%	19.1%	16.7%	18.9%	18.5%	21.1%
計	21.1%	18.4%	18.2%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	24.4%

(4) 指標の分析

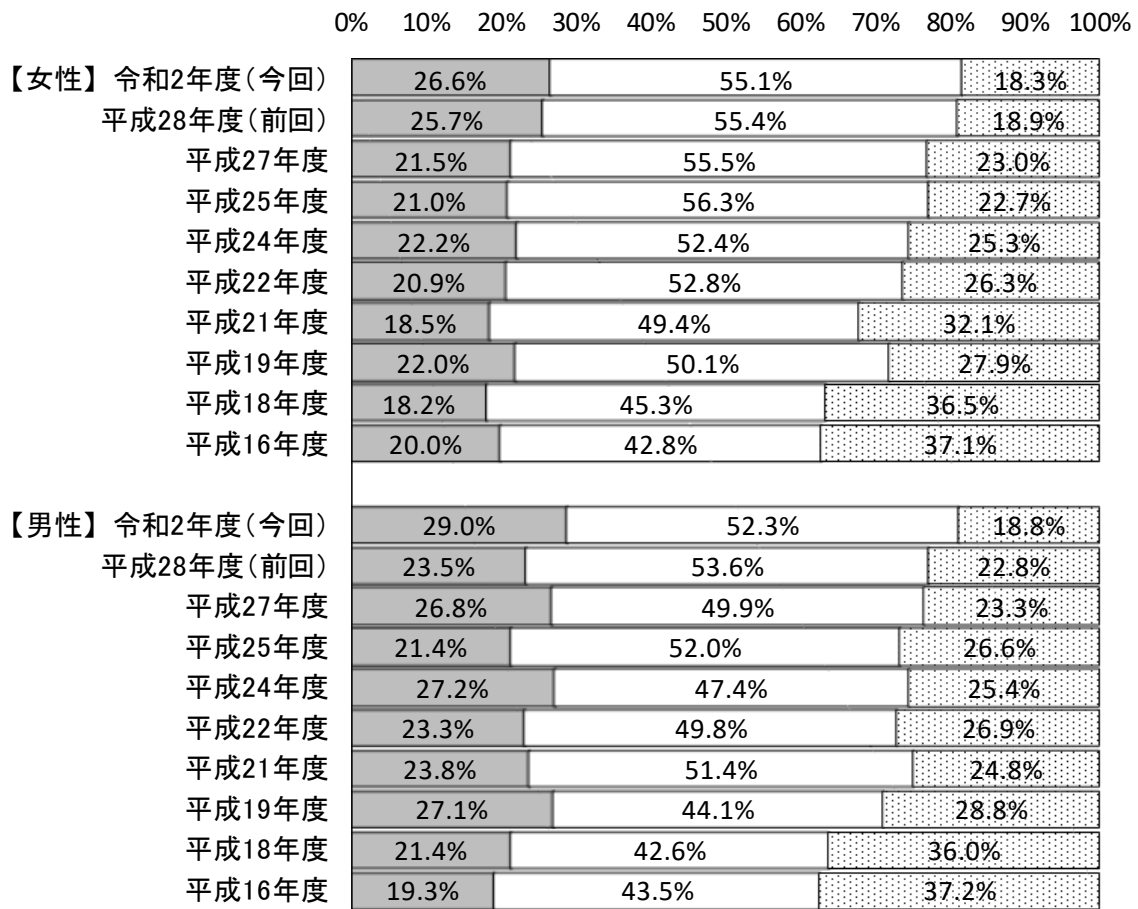
☆自然環境に満足している人は2割半ばとなっています

緑地・河川などの自然環境に、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(24.4%)と答えた方は2割程度ですが、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<自然環境×性別>

性別で見ると、『満足している』は“男性”（29.0%）が“女性”（26.6%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて男性では5.5ポイント増加しています。

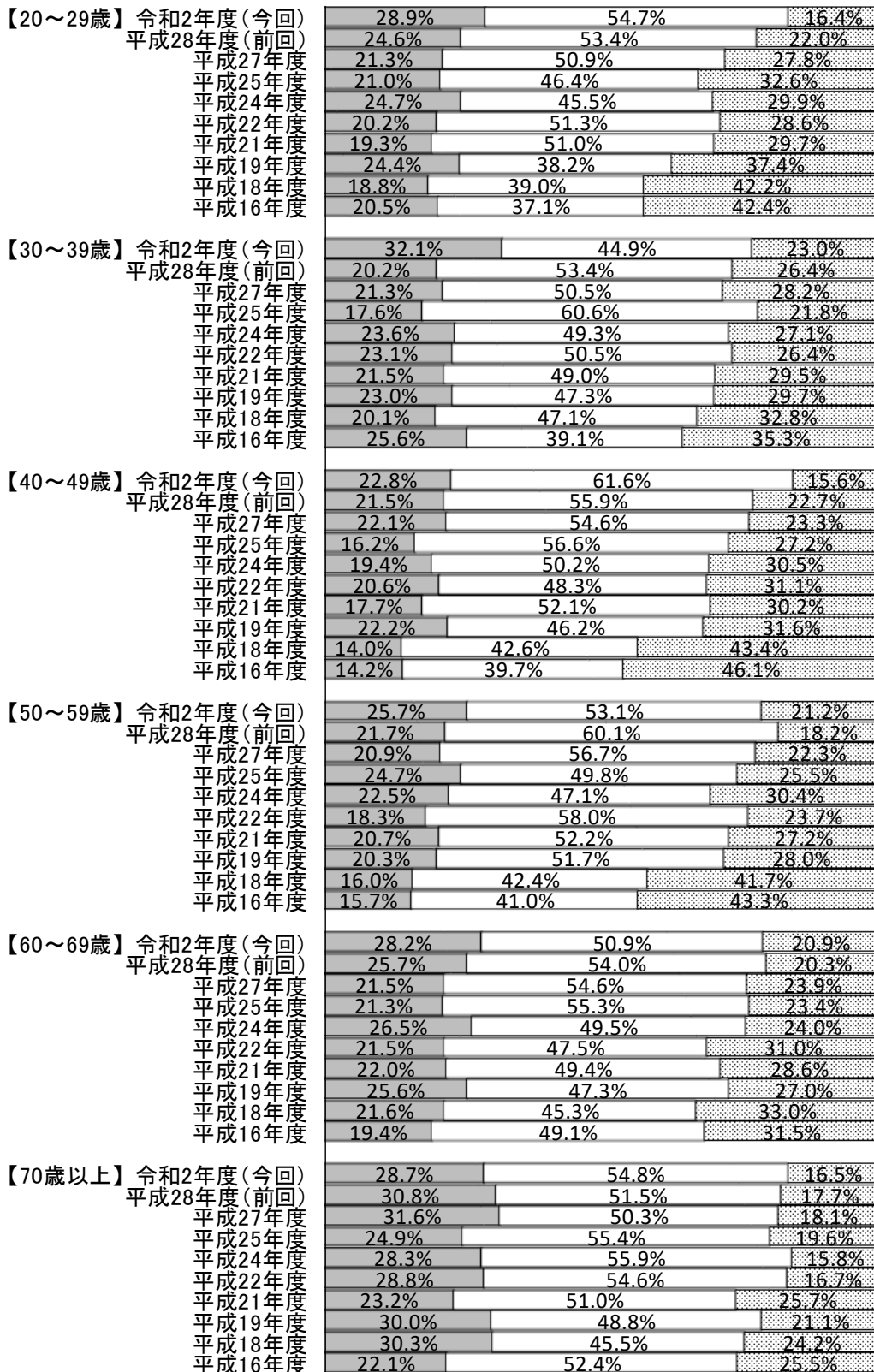


- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<自然環境×年齢別>

年齢別でみると、『満足している』は“30～39歳”（32.1%）で最も高く、次いで“20～29歳”（28.9%）となっています。また、“70歳以上”を除く全ての年代で『満足している』は平成28年度調査と比べて増加しています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

《指標》

身近で緑が守られ、増えていると感じる人の割合

(1) 指標の説明

暮らしの中に緑があり、心豊かな生活を実現するため、身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q10 あなたは、身近で街路樹や緑地が守られ、増えていると感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 守られ、増えていると感じている
- 2 守られていると感じているが、増えているとは感じていない
- 3 守られていないと感じている

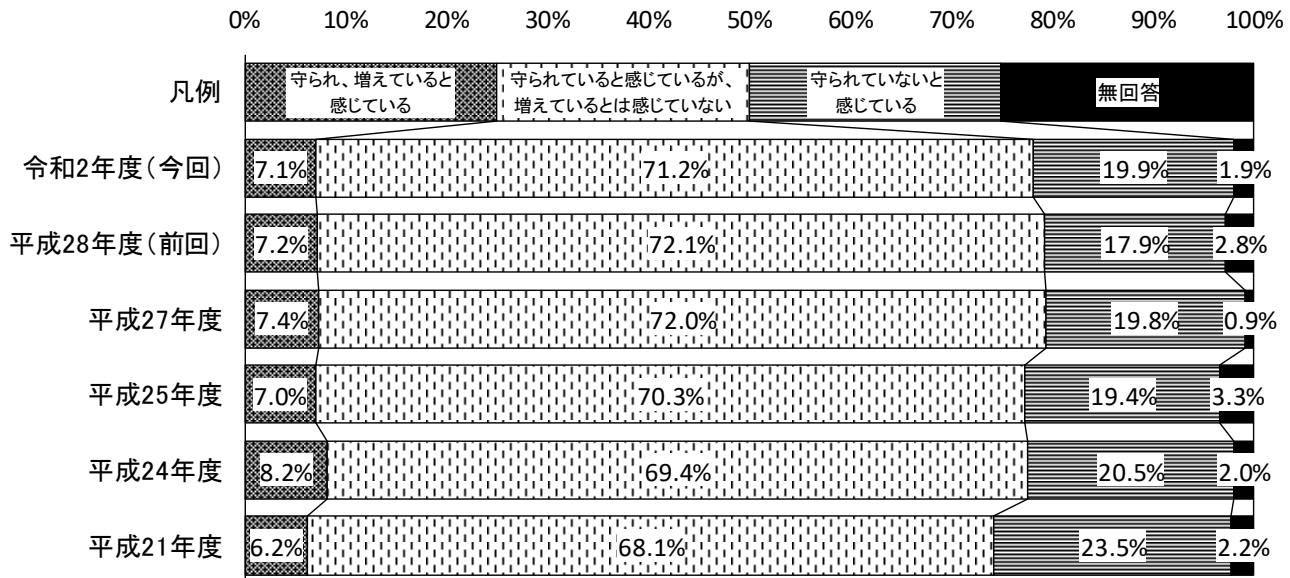
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
守られ、増えていると感じている	6.2%	8.2%	7.0%	7.4%	7.2%	7.1%

#### (4) 指標の分析

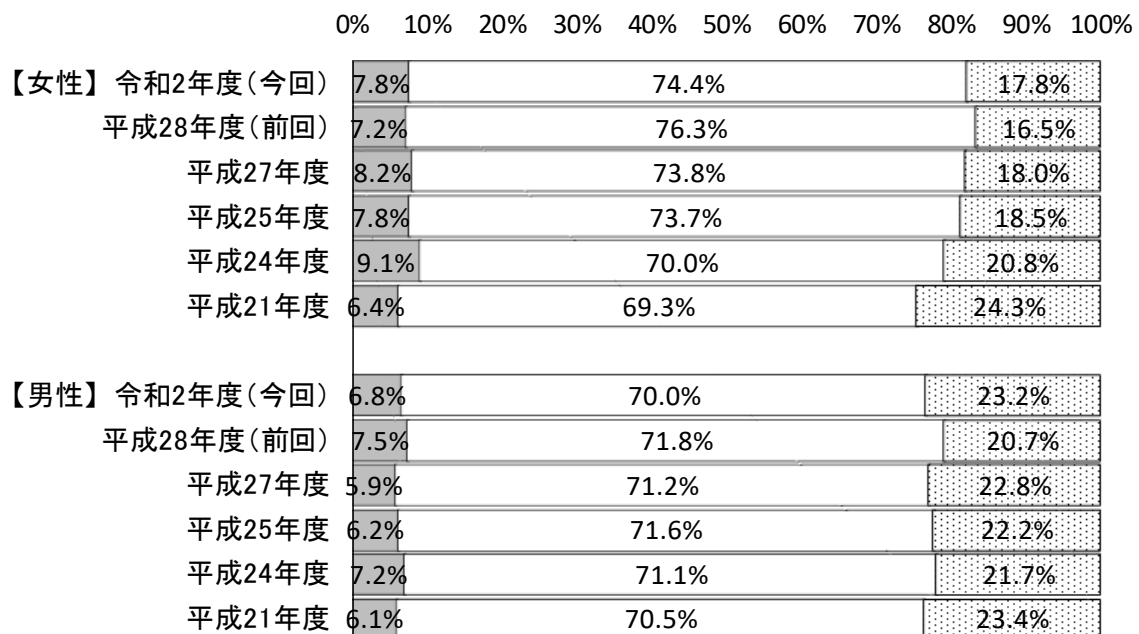
##### ☆身近で緑が守られ、増えていると感じている人は1割未満となっています

身近で緑が「守られ、増えていると感じている」(7.1%)と答えた方は1割未満となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。一方、「守られていないと感じている」(19.9%)と答えた方は約2割となっています。



##### <街路樹や緑地が守られ増えている×性別>

性別でみると、「守られ、増えていると感じている」は「女性」(7.8%)が「男性」(6.8%)より高くなっています。

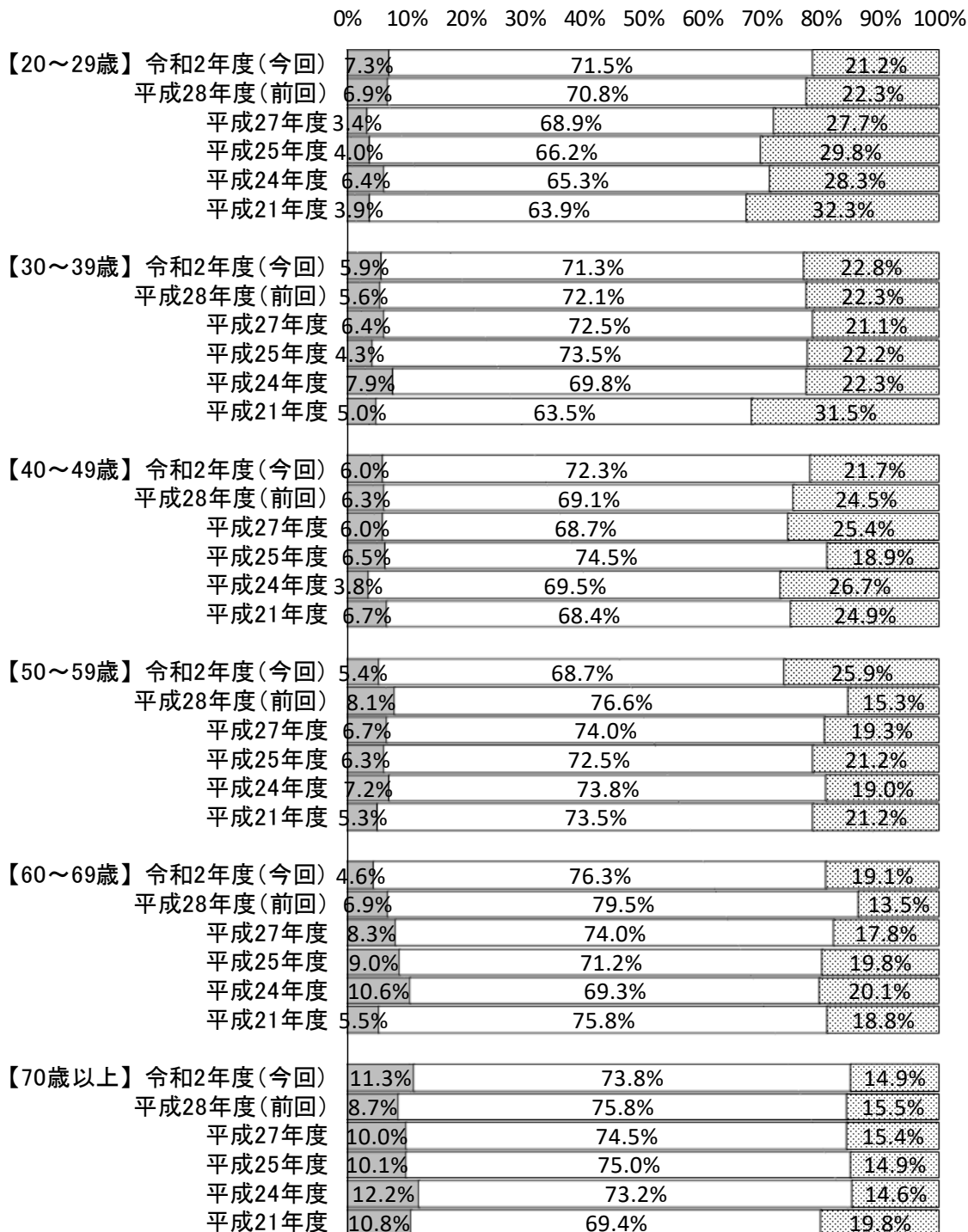


- 「守られ、増えていると感じている」の比率
- 「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」の比率
- ▨「守られていないと感じている」の比率



<街路樹や緑地が守られ増えている×年齢別>

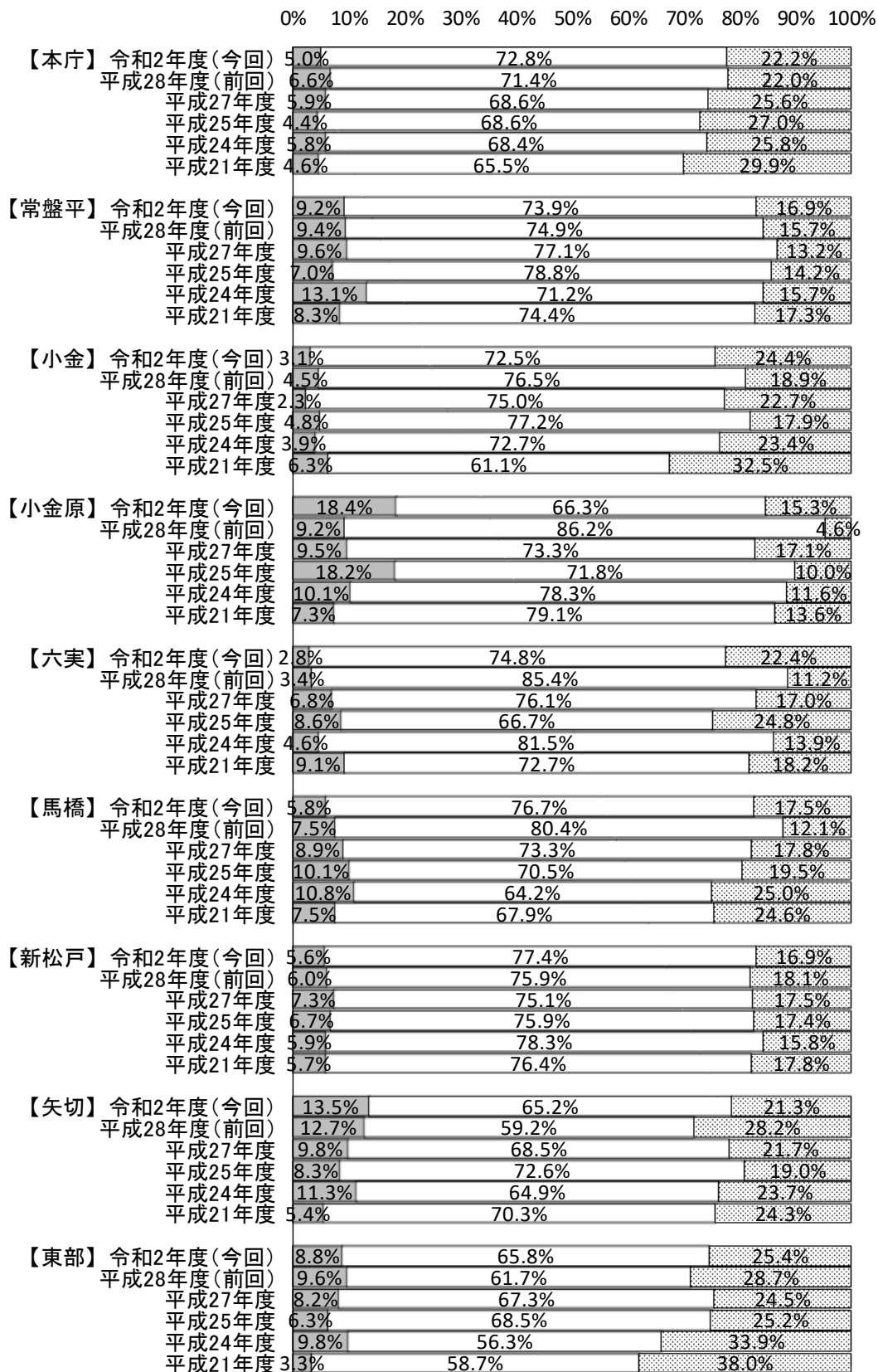
年齢別でみると、「守られ、増えていると感じている」は“70歳以上”（11.3%）で最も高く、次いで“20～29歳”（7.3%）となっています。また、「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」を合わせた『守られていると感じている』は“70歳以上”（85.1%）で最も高くなっています。



- 「守られ、増えていると感じている」の比率
- 「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」の比率
- ▣「守られていないと感じている」の比率

<街路樹や緑地が守られ増えている×居住地区別>

居住地区別でみると、「守られ、増えていると感じている」は“小金原”（18.4%）で最も高く、次いで“矢切”（13.5%）となっており、平成28年度調査と比べて“小金原”で9.2ポイント増加しています。



- 「守られ、増えていると感じている」の比率
- 「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」の比率
- ▨「守られていないと感じている」の比率